

ことわざ・四字熟語①

名前（

ことば

A-1

- 一 上に書かれたキーワードに合うように、（ ）にあてはまる言葉を書き入れましょう。そして辞典で調べて意味も書きましょう。

動物	食べ物	体	鳥
（ ）の耳に念仏	たなから（ ）	（ ）で茶をわかす	能ある（ ）は（ ）をかくす

- 二 「漢字四字の言葉」で文の意味がわかるように、（ ）の中にあてはまる言葉の中から選んで書きましょう。

- ① 発表会本番で一人欠席したが、
② 小田原市代表として、
③ 昔の人は魚が腐らないように、
④ みんなは、
⑤ 犬に追われ、
⑥ ぼくが集めたカードは、

無我夢中
誠心誠意
異口同音
臨機応変
玉石混交
創意工夫

ことわざ・四字熟語②

名前（

ことば

A-2

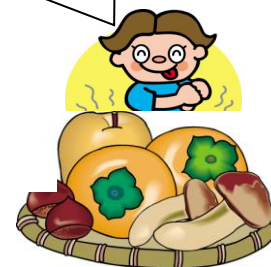
一 せりふの中に「ことわざ」を書きましょう。

秋は「やきいも」

おいしいね！



「かき」や「なし」も最高だね！



くりごはんも大好き！



おはぎだ！まさに
天高く

秋



二 せりふの中に「四字熟語」を書きましょう。

あれ、むこうから犬がきたよ。いやだなあ。



！

うわー！
い、犬が
にげたー！



わー！たすけてえ。
だれか～～～。



____だ！

いきどまり



三 今まで調べた「ことわざ」や「四字熟語」をマンガにしてみよう。

熟語の成り立ち①

名前

ことば

A-3

① 次の熟語は、どの組み合わせでできているのでしょうか。() に記号を書きましょう。

① 意味が対になる漢字の組み合わせ () () ()

② 似た意味の漢字の組み合わせ () () ()

③ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある漢字の組み合わせ () () ()

④ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ () () ()

ア 遠近 イ 乗車 ウ 願望 エ 新芽 オ 起立 カ 聖火 キ 読書 ク 寒暖

② 次の組み合わせの漢字三字の熟語を () から選んで書きましょう。

① 上の語が下の語の性質・状態などを限定するもの

② 上の語が下の語をうち消すもの

③ 上の語に下の語が意味をそえて、様子や状態を表すもの

④ 一字の語の集まりからなるもの

上中下 未発表 積極的 新製品

熟語の成り立ち②

名前（

ことば

A-4

一

次の

から漢字を選び、条件に合う熟語を作しましょう。

① 一字の語の集まりからなる熟語

--	--	--	--

道

--	--	--	--

秋

--	--	--	--

右

前 春 都 府 冬 県 左 後 夏

② いくつかの語の集まりからなる熟語

--	--	--	--

運

動

--	--	--	--

高

齢

化

--	--	--	--

体

験

自由 教室 民権 無料 少子

二

漢字四字以上の長い熟語を見つけてみましょう。

(例) 全国高等学校総合体育大会

わからなかったら、新聞や資料集などで、調べてもいいよ！



日本で使う文字①

名前

ことば

A-5

一 次の文の にあう言葉を後ろの から選んで書きましょう。

昔、文字をもたなかった日本では、やまと言葉（和語）を書き表すために、中国から伝わった漢字の音を利用して が作られました。平安時代になると、万葉がなをもとにして がつくられました。

平がな 万葉がな 漢字 片かな ローマ字

二 次の説明にあたる文字を から選んで書きましょう。

ア 万葉がなをくずして書くところから生まれたもの
イ 多くは、万葉がなの一部をとって生まれたもの
ウ ものの形からできた文字

エ 意味を表す部分と、音を表す部分とを
組み合わせた文字

象形文字 平がな 片かな 形声文字

三 万葉がなで書かれた『万葉集』の中の短歌を読んでみましょう。（ ）に合う言葉も入れてみましょう。

うらうらに てれるはるひに （ ）あがり
宇良宇良祢 照流春日 比婆理安我里

（ ）こころかなしも （ ）しおもへば おおどもの やかもち
情悲毛 比登里志於母倍婆 大伴 家持

（うらうらに照れる春日に ひばり上がり 心悲しも 独りし思えば）

日本で使う文字②

名前（

ことば

A・6

一 次の文の□にあう言葉を書きましょう。

現在、日本語の文章を書き表すときには□と、かな（平がな・片かな）を交ぜて使っています。この表し方を「漢字かな交じり文」といいます。

このほかに、□や数字、記号などを使って日本語を書き表しています。パソコンでの文字入力は、ローマ字が使われることが多いです。

二 次の文を、漢字かな交じり文で書きましょう。

① うらにわにはにわニワトリがいる。

② にのみやきんじろうは、あぶらなをそだててあぶらをつくりました。

三 万葉がなで書かれた『万葉集』の中の小田原を読んだ短歌を読んでみましょう。

さがむじの よろぎのはまの まなごなす
相模治乃 余呂伎能波麻乃 麻奈胡奈須

こらはかなしく おもはるるかも
児良波可奈之久 於毛波流留可毛

あずまうた さがみのくに
東歌（相模国）

さがみじ はま まなご
（相模路のよろぎの浜の真砂なす 子等はかなしく思はるるかも）

相模の国のこゆるぎの浜にやってくると、砂浜の砂のように多くの子どもたちが遊んでいるのが見えた。とてもかわいらしいなあ。

*こゆるぎの浜（今の小田原から二宮にかけての海岸）*かなしく（昔の言葉でかわいい）

敬語

名前

ことば

A-7

線が引かれた言葉を敬語に直しましょう。

拝啓

日中は、汗ばむほどの季節になりました。
わたしは、運動会の練習にはげんでいます。

昨日、資料が、とどいた。さっそく

送ってもらい、ありがとう。

おかげさまで、わたしたちは、二宮

尊徳についていろいろお調べすること

ができます。また、尊徳記念館のパン

フレットを見ると展示室や生家がある

ことが分かりました。実際に見学に行

く日を、みんな、楽しみになさってい

ます。

六月二十日には、分からないことを

いろいろたずねると思いますがよろし

くお願いします。当日は、〇〇さんが

申し上げることを、よくお聞きして学

んでいきたいと思っています。

敬具

□ □ 年 月 五日

小田原小学校〇年〇組

二宮次郎

尊徳記念館 〇〇様

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

ヒント

特別な言い方

△ 尊敬語 △

△ 言葉 △

△ けんじょう語 △

いらっしゃる

行く・来る

うかがう

聞く

いる

うかがう

おっしゃる

言う

申し上げる

めしあがる

食べる

いただく

もらう

もらう

いただく

ご覧になる

見る

拝見する

なさる

する

いたす

